

2023.06.04. これが終わりの時だと知る方法

第一ヨハネ 2章 18節から 20節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 主よ、今朝、あなたの御名を讃えます。安全にここへ導いて下さり感謝します。主よ、オンラインで見ている人をもあなたに感謝します。主よ、私たちはあなたのご方法を邪魔してしまいますどうか助けて下さい。ですから、主よ、今朝、この時間が、私たちを祝福するものになりますように。主よ、私たちの注意を引きつけてくださいますように。主よ、私たちの心に働きかけてくださいますか？ 主よ、あなたが私たちのためにここに用意されていることがあるからです。私たちはそれを逃したくありません。主よ、この礼拝の時間に感謝します。あなたの御言葉に感謝します。主よ、今朝の御言葉を祝福くださいますように。あなたの力強いイエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。オンラインで参加の方々も歓迎します。始める前に、お知らせがあります。私は休暇をとります。私は元気で大丈夫です。家族と共に過ごすために休暇を取ります。私はどこにも行きません。ご存知の通り、どこにも行きませんよ。先日何人かに話しましたが、私は家に帰り、教会に行って、家に帰り、教会に戻り、家に帰ります。ですから、とにかく、家族とたっぷり必要な時間を過ごします。息子が夏休みで戻りますので、息子と楽しい時を過ごしたいのです。私が休暇中、とても愛情深く有能であるレイトウ牧師とマック牧師が代講します。皆さん、間違っって受け取らないで欲しいのですが、皆さんは、他の牧師は探せますが、私の家族には、私の代わりはいませんでしょ。私には、補佐してくれる牧師がいますが、家族には私の補佐はいません。それは...ともかく、それは私の話で、そういうことです。ですから、日程は、今週6月8日木曜日から、7月9日日曜日までです。オンラインの方が、旅行でここに来られても私は不在なので、大変心苦しいです。ですから、お願いしたいのは、お手数ですが私たちのウェブサイトのメールに送っていただければ、素晴らしいスタッフが、私に知らせてくれます。私たちは、できる限り手を差し伸べるよう努力します。なぜなら、繰り返しますが、私はこの島にいます。どこにも行きません。どこにいるのかはお伝えしません。私の電話番号もね。でも、私はここにいます。でも、皆さん知ってます？ それじゃあ、知りすぎですよ。ですから、とにかく、ご理解ください。あなたの滞在中、可能な限り対応させていただきます。しかし、大事なことは、火曜日の夜、祈り会を楽しみにしているのです。私はここで、実は祈りについて少しシェアします。今回の祈り会では、ちょっとだけ変わったことをします。祈りのリストも引き続き用意しますが、でも、少しだけ時間を取り、祈りに関する考えや心にあることを心から心へ、私の心からあなたの心へ分かち合います。火曜の夜は、7時にカポノの賛美で始め、神の御心なら、2~3曲賛美してから、私が少し話します。そして、祈り会を始めます。聖霊に導かれるまま、私たちは祈ります。ご想像ください。祈り会で、私たちは祈ります。ですから、是非予定を立てて来てくださって今週火曜日、午後7時に参加ください。それでは、「第一ヨハネの手紙2章」です。聖書箇所は18節から20節です。可能ならご起立ください。私が読むのについて来てください。ご無理なら、座ったままでも結構です。聖霊に導かれて、使徒ヨハネが続けて書いています。

— 1ヨハネ 2：18 —

幼子たち、今は終わりの時です。反キリストが来るとあなたがたが聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現れています。それによって、今は終わりの時であると分かります。

— 1ヨハネ 2：19 —

彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし仲間であったなら、私たちのもとに、とどまっていたでしょう。しかし、出て行ったのは、彼らがみな私たちの仲間ではなかったことが明らかにされるためだったのです。

ー 1ヨハネ 2：20 ー

(しかし) **あなたがたには聖なる方からの注ぎの油があるので、みな真理を知っています。**

ご一緒に祈りましょう。お父様、あなたの御言葉のこの箇所本当に感謝します。これはとても力強い箇所、ここに理由があります。主よ、今、私たちは、全身全霊の注意をお捧げしたいです。そうすれば、あなたが私たちに見せられたいことを示され、 私たちに聞かされたいことを私たちの人生に語ってください。あなたがそうなさる時、私たちは聞く耳と受け入れる心を持ちたいです。ただ聞くだけでなく、この終わりの時に関するあなたの御言葉を心に留めたいのです。おお、主よ、ありがとうございます。沢山の人々に多くの必要な希望と励ましがもたらされますように。特に、本当に苦しみ傷ついている人に、深い痛みや過酷な試練や苦勞を持って教会に来られた人に、とても疲れ、糸一本で持ちこたえているオンラインの人たちに。あなたが使徒ヨハネを導かれ、これを書かせられた理由は、これによって私たちに励まされるためです。ですから、主よ、励ましてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。今日の説教に私が選んだタイトルは、「これが終わりの時と知る方法」です。先週、申し上げた通り繰り返しますが、今週の「第一ヨハネの手紙」の節ごと学びは、「聖書預言・アップデート」と連動します。その理由は、私たちの前にあるこの章の箇所は、特にこんにち、間違いなく聖書全ての中で、これが終わりの時であると知る方法だと最も明らかにされている箇所です。ちなみに、神は私たちに知ってほしいと思っておられます。今から見ていくのは、使徒ヨハネは聖霊によって、いつが終わりの時かを特定する3つの具体的な方法に焦点を当てます。これがおそらく、お伝えするのに良い時で、第一礼拝で、指摘したのですが、なぜなら、こういう質問、「JD 牧師、失礼ながら、ヨハネは『今は終わりの時である』と 2000 年前に書いたのではありませんか？ ですから、待ってください。2000 年後になって、まだ終わりの時ですか？」

そうです。どういう意味ですか？ ええ、お許しいただけるなら、ベストを尽くし、聖霊の助けによって、理由を説明します。「神のご設計により」すべての世代が、主がいつでも戻られるという期待を持って生きて来たからです。使徒パウロ、覚えていますか？「第一テサロニケ 4 章」です。有名な「携挙」の箇所で、使徒パウロが、テサロニケの教会の人々を励ますために書いた手紙です。なぜなら、彼らは非常に落胆し、恐れていたからです。パウロは彼らの希望を新たにし、励ましたかったのです。彼らはとても落胆し、恐れていました。パウロが彼らに書いたことは何か？

「生き残っている私たち」です。(1テサロニケ 4:17 参照)

そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、(1テサロニケ 4:16 参照)

ー 1テサロニケ 4：17 ー

それから、生き残っている私たちが、**彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、[携挙され] 空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。**

ー 1テサロニケ 4：18 ー

ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。

パウロは「互いに励まし合いなさい。」と、そもそも、彼らが落胆していなかったら言いますか？

おお、ところで、もう1つの質問で、修辭的ですが、パウロが 2000 年前に「私たち」と言ったのはなぜ

か？ 待って、パウロよ、「生き残っている私たち」って、携挙があなたが生きていられる間に起こると考えたのですか？ そうです。それが、「生き残っている私たち」と私（パウロ）が言った理由です。

神のご設計により、すべての世代はイエス・キリストのまもなくの現れを待ち望んで生きています。では、私たちのヨハネの箇所は、感謝なことに、大変明確です。ヨハネは、「これが終わりの時であると知る方法」だと私たちに話します。使徒ヨハネは3つの明確な理由を順番に私たちに示します。

1つ目、18節、「反キリストたち（複数）」と「特定の(the)反キリスト」の到来。

2つ目、19節、キリストを知らない者たちは離れる。

3つ目、20節、キリストの御霊からの注ぎの油と見極め。

これら3つの方法で、私たちは「これが終わりの時」だと分かります。

全て3つが私たちにとって...これが今日、目の前にある箇所の本来の目的です。なぜなら、神は、聖書預言について私たちが無知であって欲しくないと思っておられるからです。先走っているようですが、神は私たちに知らされたいのです。神は私たちに準備させたいからです。主は私たちに知らされたいのです。主はそれを私たちに隠しておられません。

1つ目、18節を話しましょう。「反キリストたちと特定の反キリストの到来」

特定の(the)反キリストと多くの反キリスト（複数）の区別をしてください。本当に初っ端から、ヨハネははっきりと、平たく言えば「これが終わりの時であると知る方法」だと語ります。いわば、リトマス試験/判断基準、私たちが知るための究極の判断基準、これが終わりの時であると分かるのは、「特定の反キリスト」の到来だと。今、これを言うと、皆さんを怖がらせるのは分かっています。でも、私がそれでも言うのは、もし私が皆さんを怖がらせるなら、皆さんをイエスの御名において、怖がらせます。

— (笑) — こんにちは（特定の）反キリストは健在です。皆さん、怖がってます？ 彼はまだ登場していません。教会が取り去られるまで、彼は登場できません。しかし、彼は既に舞台裏にいて、準備万端です。それが私たちが、「終わりの時であると知る方法」です。（特定の）反キリストはこの終わりの時であるこんにちはに生きていてだけでなく、彼と共に、多くの反キリストも複数存在します。ご辛抱ください。以下は語弊です。先週、多くの語弊を解消できたと思います。第一礼拝で言いましたが、今日は、語弊はひとつだけですから、皆さんに休憩を差し上げます。で、さらに私から一息つけます。

でも、私は戻ってきますよ。家族との時間の後に、私を追い出さないでください。でも、私たちはここに1つ語弊があって、今日、明確にします。反キリストは、「キリストに敵対する」の意味だけではありません。これは語弊です。どういう意味ですか？ 反キリストは、そう「キリストに敵対する者」という意味です。しかし、さらに欺瞞的でさえあって、反キリストは「キリストに成り代わる」という意味です。今、それがこの全体の様相を変えますね。ですから、ヨハネがここで言うことは、あなたが「終わりの時であると知る方法」があって、まず、特定の反キリスト。しかし、特定の反キリストと共に、反キリストたちの増加というこの顕著な蔓延があります。私たちは、特定の反キリストの霊が分かります。反キリストの霊です。それは、終わりの時に存在（present）する事を表します（pronounced）。

それから、他の「P」語彙を付け加えます。増えて比例（proportionate）します。どうです？ 気分良くなりましたか？ 私たち牧師は、ある文字から始まるものを思いつくのは得意です。なので、私の3点説教です。 pronounced/顕著、 prevalent/蔓延 proportionate/比例

どういう意味か？ 終わりの時に増加します。救世主イエス・キリストがキリストに成り代わる何かで置き換えられる＝反キリスト。それが、あなたが知る方法：それがしるしで特徴です。それが終わりの時

だとあなたが見極める方法、反キリストのしるしです。教会内で。彼らはキリストに成り代わっています。それが反キリストです。

「うわ～牧師さん、あなたは教会について話してるんですか？」

違います。あなたが終わりの時を知る方法です。

反キリストたち：キリストに敵対するだけでなく、キリストに成り代わる。異なるキリストです。イエス・キリストではありません。反キリストです。それは福音ではありません。異なる福音です。こんにちの教会において彼らはキリストに取って代わる異なる偽キリスト＝反キリストです。これが、私たちが終わりの時であると知る方法です。それが、私たちが知る人類史の終わる時です。今までなかったような未だかつて見なかったようなことを私たちは目撃しています。私はこれをしたくありません。私はこうする必要があるかどうかはわかりませんが、しかし、統計が裏付けています。こんにちの教会の状態は、まさしく、聖書預言にある終わりの時の教会の記述です。イエスはそこにはおられません。イエス・キリストはおられません。キリストに成り代わって、反キリストがいます。それが終わりの時のしるしです。それとセットなのは、ご存知... これについては今から話しますが、特定の反キリストは既に舞台裏にいます。繰り返しますが、彼はまだ出現できませんけど、反キリストの霊がいます。

この終わりの時、この世に反キリストが存在すれば、あなたはそれが、終わりの時だと分かります。それが、1つ目です。

2つ目、19節、「キリストを知らない者たちは離れる」

私は告白せねばなりません。ご辛抱ください。この1つは、とりわけ本当に難しいです。なぜなら、そもそもイエス・キリストの救いを全く知らない者たちを取り扱うからです。とても嘆かわしいのは、かつて私たちと共にいた人々なのに、本当には決して私たちには属さず、彼らが私たちから離れていく方法が証拠です。一緒にこのことを通して考えてほしいのです。しかし、お気づきですか？ このことが終わりの時に急激に増加します。いや、困惑します。それでは言葉不足なくらいです。心が揺さぶられます。どうやってそれが可能でさえあるのか？ 彼らは、最初から救われませんでした。でも、彼らが私たちから離れる時、何が起こるか見てください。かつて私たちと一緒にいたのに。結果起こることは、欺瞞、混乱、分裂です。教会の状態のこの3つがしるしで、人類史上終わりのこの時だと同意しますか？ 混乱の作者は誰ですか？（会衆：サタンです！）それが分裂と征服です。

教会は分裂してますか？ こんにちのイエス・キリストの教会は分裂していますか？（会衆：はい。）

こんにちのイエス・キリストの教会とは、広い意味で言ってます。こんにちのイエス・キリストの教会は欺かれてますか？（会衆：はい。）これは言葉遊びではありません。もしかするとそうかも。なんでもいいです。惑わされた者が、人々を惑わします。イエスは「マタイ24章24節」で仰います。きっとその箇所だったと思います。主は言われます。あなたはそれが終わりの時だと分かります。これが終わりの時のしるしです。

— マタイ 24：24 —

偽キリストたち[反キリストたち]、**偽預言者たち**[偽教師たち]**が現れて**[増え]、...（大変欺瞞的で）**...できれば選ばれた者たちをさえ惑わそうと**、（大きなしるしや不思議を行います。）

それが「終わりの時だと知る方法」です。それは実際、2つ前の節と一致します。きっとその箇所のはずです。「マタイ24章22節」イエスは仰います。「非常に悪化します。」患難時代を意味しておられます。主がご介入され、その日数が少なくされないなら、一人も救われないでしょう。**(マタイ24：22)**

それがいかに悪くなるかということです。それほどの惑わしが起こります。ですから、起こる全てはイエスを知らない人たちがイエスを公言したけれど、そうではない者の話を聞いている。おお、あなたは本の次の章が書けますよ。それがまさに今、敵がしていることで、それが、正確に聖書預言が記す人類史の終わりの時のしるしで特徴です。私は、このことを率直に、とてもオープンに話します。それは牧師として心が痛みます。ご存知、現実だからです。教会は、準備不足です。神の御言葉を教えないからです。彼らは、いのちのパンで養われていません。ですから、人生にぶち当たると、人生はぶち当たります。彼らは崩れ落ち、崩壊します。彼らは立ち去り、離れます。もし、彼らが生まれ変わって救われていたら、私たちは天国で会えます。しかし、彼らは信仰から離れます。イエスは、ヨハネに書かせられましたね。このヨハネにですよ。フィラデルフィアの教会宛てに。

「あなたはわたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。」(ヨハネの黙示録3:8)

主を否定し、主から離れ去った者がいたことを示唆します。この格言を聞いたことがありますね。「状況が厳しくなると、強い者たちが動き出す。」両方作用ですよ。「状況が厳しくなると、キリストを知らない者たちが動き出す。」私はこれに署名していません。私は細則を読んでいなかった。皆さん、利用規約をご存知ですね。皆さんきつと、私と同じことしますね？ それを読みませんか？ 下にスクロールして、「同意する」ですね。何に同意するかお気づきですか？ 利用規約、細則です。イエスは、例えの教えで、そう仰っているのですよ。種が道端に落ちた。この世の煩わしさや悩みが、それを窒息させます。発芽せず、芽も出ません。決して根も張りません。受胎もなければ、誕生もない。発芽せず、実もならない。悲しいです。ですから、このしるしは終わりの時を示していて、蔓延状態になり、、、世の話じゃありません。なぜ、世が再生するよう振る舞うことを期待しますか？ 彼らはそうじゃない。彼らは迷っています。私たちは教会について話しています。これは教会、クリスチャンへの一般的な手紙です。彼らは、頭を悩ませていて、兄弟の誰それが、叔父、叔母が、、、一緒にパンに与っていたのに、私たちは隣に座り、一緒に礼拝し、一緒に御言葉を学んでいたのに、一緒に神の御言葉の学びの下にいたのに、聖餐式に共に与ったのに、彼らは立ち去ってしまった。何が起きているの？ 私が何が起きているのか話します。今、終わりの時で、それが起きている。悪くなる一方です。今でさえも。20節のために、残りの時間を使いたいのです。すぐに理由がわかると思います。なぜなら、キリストの御霊からの見極めについてを話します。ですから、反キリストがいて、キリストを全く知らない者たちが離れていきます。しかしそれから、私たちにはキリストの御霊からの見極めがあります。今、ここでヨハネが書くことは、多くの理由で興味をそそります。その最たるものは、ヨハネが「know/知る」を別のギリシャ語単語で使う事。以前、ヨハネはギリシャ語の語彙、ギノスコ/ginosko (知る) を使いました。経験的な知識(経験知)です。ここでは、ギノスコ/ginosko (経験知) は使いません。違うギリシャ語の単語で エイド/eido を使います。それは「経験知」ではありません。直感的な知識です。お付き合いください。ここで、ヨハネが言うことの、その強さに留意ください。どうか20節の強さを見逃さないでください。今日、あなたがこの牧師から叫び以外聞いていなくても、これは聞いてください。ヨハネが言うのは、あなたは直感で分かる。直感で、本能的に、聖霊からの見極めで、「これが終わりの時」だと。どのように知るのか？ あなたが知っていることを知っていると感じる。私たちが言う通りですよ。あなたが若い頃の聞き方がわかります。「恋をしているかどうかは、どうすればわかるの？」もちろん、親が最善を尽くしますね。「子ども達、聞きなさい。親として、私たちは可能な限り最善を尽くしますからね？ 私たちがあなたに言うのはこう。あなたが知っていることを知っていると感じる。」

「おお、ありがとう、母さん。ありがとう、父さん。それは本当に役立ちます。どうやってわかるの？」
「違う。あなたが知っていることを知っているとは分かるのだよ。」それがヨハネがここで終わりの時の文脈で言う方法です。しかし、それは、「あなたには分かる。ただ分かるのです。」ではなく、そうではなく、「あなたは分かる。なぜなら、聖霊が見極めをお与えになるから。」

質問してもいいですか？ もちろん、大きな声で答えないでください。私の説教の邪魔になって、私を脱線させますよ。最初からやり直さねばならなくなります。そうしたくないでしょ？ この質問をさせてください。直感的見極めのようなこんな感覚はありますか？「これが終わりだと思う。」それが、ヨハネが言っていることです。「もうあまり時間があるとは思えない。」それがヨハネが言っていることです。「これが終わりのように感じます。」それがヨハネが20節で言うことです。

「どうして分かるのですか？ 牧師さん、どうして確信できるのですか？」20節、それが私がわかる方法です。ギノスコ/ginosko (経験知)ではなく、エイド/eido (直感知)です。それは直感的見極めです。神の子として、聖霊と共に証しする私の霊が言います。「わたしは来ます。これが終わりです。あなたには分かります。なぜなら、聖霊からの注ぎ、見極め、油注ぎがあるからです。聖霊があなたの上に臨まれました。」聖霊があなたの上に臨まれた時、ほ～！ほ～！それが私が言うすべてです。もう一度、ほ～！聖書の全てで、聖霊が誰かの上に臨まれる時についてをあなたが読むと、あなたが読んだことは、その後「ほ～！」となります。OK。最後の1回です。今のが(ほ～！の)最後です。

ポイントは何か？ 私のポイントは、聖霊は、この終わりの時に神の民である私たちと共に、この直感的見極めを証しされます。「これが終わりの時。」あなたには分かります。あなたには分かります。

私は皆さんに内面的なものを伝えました。言葉を探しているんですが...なぜなら、私たちは聖霊と同じ音叉に調律されているからです。それが、神の民の間には、ほとんどユニゾン/同音、少なくともこのような調和がある理由です。こんにちのクリスチャンには、今が終わりの時だという感覚があります。ヨハネがそれに言葉を添えています。彼はこの直感的知識という単語を使います。再度、もう一度だけ言います。この直感的知識だとヨハネが言う強さ、

「あなたは分かります。あなたは真理を知っています。あなたは知っています。聖霊のおかげで。聖霊の見極め、聖霊の油注ぎで。聖霊はあなたに語られます。」

聖霊が語られる時...これは、神であられる聖霊です。三位一体の第三位格の神が私たちに内住されています。私たちの内なる神が、私たちに語りかけられ、あの静かで小さな御声で語られます。あなたは直感的に、エイド/eido: 知ります。なぜなら、あなたのことは神にしかわからないからです。同じことを別の言い方で言います。あなたが御言葉にいと、よく分かるのは、神の御霊が神の御言葉を通して神の民に語りかけられます。あなたは御言葉にあって、御言葉を読むと、神の他には誰も私のことを知らない。それがこれです。それを今、今日の箇所文脈に当てはめてみましょう。神だけがそれをご存知で、私に知らせておられます。なぜなら、神は私にそれを知らされたいからです。神が私に知らされたいのはなぜか？ そうすれば、私は準備できる。神は私に無知であって欲しくあられない。何度あります？ もちろんパウロの書簡の中で、つまり、それ自体がかなり強く、「無知であってはいけません。」「あなたは私を無知と言いました？」いいえ。パウロが言いました。

「兄弟よ、無知であってはなりません。」(1テサロニケ4:13参照)

言い換えると、、、「あなたは無知になっています。無知であってはいけません。」誰が無知でいたいのです？あなたが最後に誰かに無知だと言われたのはいつですか？ 私は答えません。あなたも答えないでしょ

うけど、無知であってはなりません。理由は、なぜなら、無知である必要がないからです。神があなたが知るべきことをすべて与えられ、あなたがそれを知ることが望んでおられるからです。神はあなたにそれを知らされたいのです。あなたに無知であってほしくありません。これらのことについて、とりわけこのことについてを。なぜなら、これがかなりゲームチェンジャー（一変する）だからですよ。第一歴代誌 12 章 32 節に注目ください。この節で、とても具体的にイッサカル族について語られます。彼らは、自分たちが生きている時代を理解し見極め、神の御霊によって直感的に見極めていただけでなく、イスラエルが何をすべきか知っていました。1つ知ること... 持つこと。それが私が求めていた言葉、内部情報です。株式市場についての話じゃありません。お願いしますね？ ー(笑)ー

「内部情報」そう、内部情報を持つ。あなたは、偶然にも高い地位の方とのお付き合いがあるから。聖霊が内部情報を教えられます。ですから、知っている事とは、彼らはそれを知るだけでなく、それについて何をするかを知っていた。彼らは、そういう時に生きていることを見極め、直感的に知っていて、その点、彼らは終わりの時を知っていました。今、それであなたは何をしますか？ ローマ人への手紙 1 3 章 1 1 節、使徒パウロが、どうするかを語ります。こうするのです。

ー ローマ 1 3 : 1 1 ー

さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。...

OK。時を見極めなさい。時を理解しなさい。あなたは終わりの時だと分かります。今、これをしなさい。...あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているのです。私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。

ー ローマ 1 3 : 1 2 ー

夜は深まり、昼は近づいて来ました。闇のわざを脱ぎ捨て、光の武具を身に着けようではありませんか。これは強く生々しいです。

ー ローマ 1 3 : 1 3 ー

遊興や泥酔、淫乱や好色、争いやねたみの生活ではなく、...

待って。それがこのリストに載ってるんですか？ 待って、待って、待って。あなたは私にこう言うのですか。不和、分裂、闘争、対立、嫉妬、ねたみ、貪欲、地位の奪い合い、権力争いが教会内で起こっていて、「遊興や泥酔、淫乱や好色、争いやねたみ」と同じリストに載るほどのレベルに高まっているんですか？ そうです。ですから、紳士淑女の皆さん、これが終わりの時です。

私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。(ローマ 1 3 : 1 1)

「そうですね、牧師さん、でも、これは 2000 年前です。」その時よりも今の方が近くさえあります。ぶりっ子しているわけじゃありません。しかし、それを踏まえて、あなたは今生きている時を理解していますか？ これが終わりの時だと理解していますか？ それについてどうしますか？ これをしてください。まず初めに、目を覚ましてください。寝ている時は、周りで起きていることに気付きません。眠りが浅い人でさえ、いえ、眠りが浅ければ、もっと簡単に起きられるかもしれませんね。でも、ご存じですね...まず最初に、もしあなたが、眠りの深い人で、本当に夜よく眠れるなら、私はあなたが大嫌いですからね。ー(笑)ー イエスの御名によってです。もちろん。つまり、私はここで、実はとても深い指摘と描写をしています。あなたが寝ている時、何が起きているかわかりませんか？ それが、パウロが言うことです。霊的な意味で、あなたは自分の周りで起きていることについて何も知りません。あなたはちょうど霊的に深く眠っている人のようで、あなたは完全に周りで起きていることに気付いていません。今

がどんな時であるのかもですよ。あなたが眠っている時、何時なのかわかりませんね。目覚まし時計が鳴り止むと、あなたは何時かわかります。おお、私は目覚まし時計が大嫌いです。天に目覚まし時計がなのが嬉しくないですか？ 必要ありません。ですから、それが、これが終わりの時だと知った上で、あなたがする必要のあることです。その時は来ました。目を覚ましなさい。準備しなさい。どういう意味ですか？ ええ、その汚いパジャマを脱ぎ捨てなさい。ここで止めておきます。代わりに、着るのです。14節、

ー ローマ 13：14 ー

主イエス・キリストを着なさい。欲望を満たそうと、肉に心を用いてはいけません。

もう時間はありません。もう時間はありません。そういう時は過ぎ去りました。おお、もしかすると、5年前に私たちが生きていた世なら、まだそれが許されていたかもしれませんが、今は違います。今は違います。この時、この終わりの時では許されません。「これが終わりの時である」という点を「知る」ことについて、2~3の最終的考えを皆さんと分かち合って、締め括りたいと思います。前置きで話したかもしれませんが、私は、疑いなく確信します。合理的な疑いではありません。まったく疑いなく「これが終わりの時だ」と確信します。私がそれを言う時の意味は、主は私の心をご存知です。これが終わりです。終わりです。これが終わり方で、これが終わる方法です。これが終わる時です。これが終わりの時刻です。以上。

そのことについて、何があっても私の心や思いに疑問は一切ありません。ですから私がしたいのは、質問を投げかけ、お聞きします。再度、これを良く考えてください。もしそうでないなら、なぜ御言葉の神は、これほどまでに神の御言葉によって、このことを記しておられるのでしょうか？ なぜ、神がこのことを私たちに知らされようとしておられないなら、聖書の約1/3近くが預言なのですか？ 私たちの聖書、しかも聖書の1/3に預言があるのは、このためなの理に適っていませんか？ もしかすると、、、間違っただけで聞こえませんか？ もし聞こえても、そんなつもりはありません。でも、もしかすると、神は私たちに知らされたいのでは？ 主がこの世から私たちを連れ出すために来られることを。

木曜日の夜、共に聖餐式に与りました。しかも、今までこれを見たことはありませんでした。最後にそれを分かち合いたいと思います。木曜日の「エゼキエル書」と「聖餐式」の準備をしているとき、そのことに衝撃を受けました。最後の晩餐のイエスがエジプトの十の災いと正に並行するのを初めて知りました。イスラエルの民は、4日間精査した子羊の血を取ります。イエスが罪がないかを調べるため裁判にかけられた日数です。子羊を4日間精査し、シミやシワがないか確認しました。イスラエルの民は3つのことをしました。

1つ目、子羊の血をとり、家の門柱に塗る。上、下（受け皿）、左、右：十字架の形です。

十字架の前影です。すると死の御使いは、それを過ぎ越します。彼らが次にしたのは、子羊の体を食べることです。急いで。パンは？ そう、種なしパン。時間もなし。なぜ？ なぜなら、3つ目の理由です。子羊の血で安全に救われ、それから、子羊の体を食べる。子羊の体に与るのです。それから、準備しなさい。なぜなら、わたしはあなたを素早く連れ出すからです。（出エジプト 11章 12章参照）

「出エジプト記」の災いの話に戻ると、その災いは十の災いです。詳細を読むと、そこにあるのは、緊急、緊急、緊急です。ここで何がやってくるのか？ これがあなたがすべきことです。ここであなたが知るべきことは、わたしがあなたを連れ出します。非常に早くそうします。ですから、門柱に子羊の血を塗り、子羊を食べなさい。あなたには神の子羊、神の子羊の血が与えられました。あなたは救われました。今、

わたしがあなたを連れ出します。準備はできてますか？ 私は2つ目の災いの後もう行く準備はできました。理由を知りたいですか？ カエル/Frogです。とても個人的な理由です。その災いの後、まだ8つもあります。もし、私がイスラエルの民なら、私は準備できてます。「もう今、行けますか？」「いいえ、10番目まで待たねばなりません。」「あなたが私たちを連れ出してくださいますか？

「はい、行く準備はできていますか？」「私はとっくの昔に準備できています。」「わたしがあなたをこの世のエジプトから連れ出します。」

「聖書預言・アップデート」で先週話したように、神は、民からエジプトを神がエジプトから民を脱出させられる前に取り除かねばなりませんでした。神は私たちに、今それをされていますよね？ ですから、神が私たちに仰ることを聞いてください。どうぞ聞いてください。あなたに懇願します。

「わたしを聞きなさい。これが終わりの時です。これが最後の災いです。今、全てが降り注いでいます。わたしがあなたを連れ出します。わたしはあなたにこれを知らせる必要があります。この件について、あなたがする必要のあることがここにあります。」

「行きましょう。」いえ、もっと牧会的な言い方ができればいいんですけど。これが私の国の習慣です。凄く、、、皆さん、分かりましたか？「イスラエルの民よ。これが終わりの時です。これが最後の災いです。わたしはあなたに知らせます。あなたは真理を知っています。わたしがあなたを連れ出します。行く準備をなさい。なぜなら、非常に早く起こるから。」

見よ。[イエスは仰いました]わたしはすぐに来る。(ヨハネの黙示録22：12参照)

すぐに：突然起こる。

「振り向かないでください。わたしがあなたを連れ出します。準備をなさい。その血をとりなさい。」

もし私なら...ヒソップの枝ですか？ 近所のヒソップをとって、血を塗ります。まだ血はありますか？ 塗り忘れ...そこを2度塗りします。本当に馬鹿げた表現ですけど、でもポイントはわかりますね？

最後の1つです。再度、木曜の夜これについて話しました。主があなたに何かを開いてくださるとき、あなたのために語られたぴったりの御言葉のようで、主が御言葉において何かあなたに示されるようで、あなたは「ウォ〜!!!」となります。過呼吸にならないようにします。どうしてこれに今まで気づかなかったのか？ それが起こったのです。それが彼らにとって、どんなに恐ろしかったか分かりますか？ そこにあなた自身をちょっと置いてみてください。どんなに恐ろしいことか考えてください。そう、彼らは救われます。しかし、信仰によってです。でも、隣人は？ 彼らが聞いた叫び声を想像してください。

(出エジプト 11：6参照)

隣人の長子が亡くなった時の。その声と呻きがわかります。それは魂の深いところから出ます。娘のノエルが亡くなった時、妻は泣き叫びました。私が今まで聞いたことのないような魂の奥深くからの声で。民はそれを聞かねばなりませんでした。どんなに恐ろしかったでしょう？ これで話の行きつく先があります。多くの恐怖がある。ある人の発言が大変気に入っています。

「聖書預言は私たちを怖がらせません。私たちに備えさせます。」

私たちの前に選択があります。希望で満たされるか、恐怖で満たされるかのどちらかです。選択するのは私たちです。ですから、彼らは自分たちは連れ出されるという希望を持ちました。彼らは子羊の血があったからです。彼らには神の子羊がおられました。過ぎ越しの子羊です。しかし、なんとという恐怖だったでしょうか？ 私たちはそんな怖い暗い時に生きています。しかし、私たちは救われています。イエス・キリストの血によって覆われているからです。これが終わりの時です。思うに、イスラエルの民の母や父、

血が塗られた家、子羊、脱出の準備...おそらく怯える子どもを、連れて行かねばならなかったと思います。

「ママ、パパ、何が起きているの?」「いいえ、私たちは主を信頼するの。」主は私たちを連れ出されます。神が救い出されます。私たちは主に信頼します。私たちは子羊の血に与っています。私たちはここから救われます。「ええ、でもみんな死んでいっています。」分かっています。「悪化しています。」分かっています。でも私たちは連れ出されます。私たちは救われます。主は私たちのために来られます。恐れなくてください。恐れなくてください。

最後だと言いましたね。あと、もう1つだけお願いします。私はしばらく休暇ですからね。それを活用しますね。ですから、皆さんは私から一休みできます。では言います。「ヨブ記」の節ごとの学びを一緒にした人、覚えていますか? 学び全部が「ウォ〜!」でしたね? もちろん初っ端、1章の始めです。サタンは、神の許可がない限りヨブの髪すら触れられませんでした。神は、サタンに私の髪に触れるのを許可され過ぎたと思います。それはさておき。 — (笑) —

神が、サタンに青信号を出したときを留意ください。サタンはそうしました。お付き合いください。サタンはそうしました。サタンがあなたにできる唯一は、あなたに恐怖を与えることだをご存知ですか?

「ヨブ記」の記述に全くないのは、サタンがヨブに会いに来てこう言う事。「あなたの子どもを全員殺す。」ありません。サタンはそうしません。なぜそれを指摘するのか? なぜなら、今日ここにいる人たちの中には、恐怖で麻痺している人たちがいると思うからです。それは、主からではありません。なぜなら、主はあなたに恐れを霊を与えておられないからです。それは敵です。敵がそれをするつもりなら、既にしているはずですが、敵はそれができません。神がサタンに許可しない限り。それが最終的に神のご栄光とあなたの益にならない限り、神は、決してそれを許されません。それが、神が、サタンがヨブにそうすることを許された唯一の理由です。ヨブの結末を見てください。あなたの人生での試練は...

あなたが今経験していることは、とても恐ろしい。真実を知らしめれば、再度、あなたのことは神だけがご存知です。本当にこれから抜け出せるのかとあなたは思い始める。そう、携挙/rapture か 断末魔/rupture のどちらか。 — (笑) — ごめんなさい。どこからそんな考えが来たのか。

「でも違います。これは本当に、これは... ええ、神は前にも私を救い出されましたけど、今回だけは、分かりません。分からない。」

サタンはすぐそこにいて言います。

「ああ、神がなさると思えないね。神はあなたを助けるとは思えない。」

いつもここで始まるのが、2つの言葉です。この言葉をよくご存じですね: 「もしも...したら。」

サタンは「もしも...したら。」で後ろに下がります。あなたがそこから引き継ぐから。私たちは素晴らしい仕事をしますからね。私たちはとてもクリエイティブです。私たちは「もしも...したら。」をアリエル細字、フォント12、シングルスペース、太字にします。もしも...したら。もしも...したら。もしも...したら。私たちは、可能な限りこれで下っていきます。違います。止める。止める。止める。止める。止める。恐れではなく、信仰です。なぜなら、サタンがあなたを脅したり、恐れをあなたに置いたり、嘘をついたりしても、それができるなら、サタンは既にそうしているはずですが、サタンはヨブにしました。その後、サタンが許可されることはどこにも記されていません。

彼は、「ハハハハ、ヨブよ、私が何をやるかわかるか?」と言わず、彼はそれをただただ。恐れなくてください。あなたには子羊の血があります。何も怖がることはありません。あなたは神の子羊に与りました。何も怖がることはありません。即座に救い出されます。元気を出してください。

これが終わりの時です。ほとんど終わりです。ほとんど終わりです。楽しみなことがあると、どんなことでも乗り越えやすくなるのではないですか？ 恐れて暗くなればなるほど、暗くなります。約束を破ることがお出来にならないお方からの約束があることを知ってください。あなたには、その御言葉を撤回することがお出来にならない神の御言葉があります。あなたに子羊の血があるのなら、神はこの死にゆく世からあなたを救われ、助け出されます。最後に。－（笑）－ 質問で締めくくります。ご忍耐ありがとうございます。

どうして私たちは、私も含めてですが、永遠については神を信頼するのに、一時的なものについては神を信頼できないのでしょうか？ そのことを考えてください。私たちはこの終わりの時、神を信頼しています。

「終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに」(1コリ 15：5 2 参照)

「引き上げられ（携挙され）空中で主と会うのです」(1テサ 4：1 6 参照)

しかし、私たちが今置かれているその状況で、主を信頼できないですか？ 理に適っていますか？

つまり、神があなたのためにそれをされるなら、神があなたのためにされないことはありますか？

パウロはその質問をしましたよ。使徒パウロを完全に盗用しました。全開示です。

神がご自分のひとり子を惜しまず、あなたに与えられたなら、神があなたに与えられないものはありますか？（ローマ 8：32 参照）

あなたはあのことで神を信頼するのに、放蕩息子、我儘娘、道を外した妻、虐待する夫、破綻している結婚、完全になくなった財政については、神を信頼できませんか？ そのことでは神を信頼できないですか？ そのことでは神を信頼できないですか？ 神はあなたを気にかけておられます。神はあなたを気にかけておられます。神はあなたに多くを投資されています。実際、すべてを犠牲にして、あなたを買い戻されました。あなたは自分のものではなく、イエス・キリストの血によって買い取られました。

カポノ、上がってきてください。ご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。

主よ、ありがとうございます。主よ、私たちは今、終わりの時にいます。この終わりの時に、私たちのためのあなたの御言葉にどうすれば十分感謝できるでしょうか。私たちもそれを知っています。知っています。私たちは知っています。ですから、主よ。私たちは何をすればいいでしょうか。私たちがするのは、生きている時を理解した上で、あなたが私たちに命じ、召されたことです。主よ、私たちは準備ができています。あなたが私たちを連れ出されるとき、準備ができています。私たちの人生の門にその血があります。私たちは、子羊に与りました。私たちは神の子羊であられるイエス様、あなたに与ります。ですから、私たちは救われました。主よ、ありがとうございます。イエス様、最後に、どうか早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7